

2021年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月14日

上場会社名 株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 2769 URL <https://www.village-v.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐々木 敏夫 TEL 052-769-1150
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第3四半期の連結業績（2020年6月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年5月期第3四半期 | 21,196 | △14.1 | △438 | - | △514 | - | △527 | - |
| 2020年5月期第3四半期 | 24,671 | △2.1 | 112 | △66.0 | 138 | △58.9 | 14 | △93.5 |

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 △523百万円 (-%) 2020年5月期第3四半期 13百万円 (△93.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年5月期第3四半期 | △78.51 | - |
| 2020年5月期第3四半期 | △9.66 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年5月期第3四半期 | 27,824 | 7,256 | 26.0 |
| 2020年5月期 | 24,398 | 7,901 | 32.3 |

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 7,238百万円 2020年5月期 7,882百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年5月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 |
| 2021年5月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2021年5月期（予想） | - | - | - | - | - |

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 現時点において2021年5月期の配当金は未定であります。
 3. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式（非上場）の配当については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----|---|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現時点で見通すことは困難なことから未定としております。連結業績予想については、合理的に算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年5月期3Q | 7,861,700株 | 2020年5月期 | 7,861,700株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年5月期3Q | 7,301株 | 2020年5月期 | 4,001株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年5月期3Q | 7,855,926株 | 2020年5月期3Q | 7,844,877株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

| A種優先株式 | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-----------|-----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年5月期 | — | 0.00 | — | 80,000.00 | 80,000.00 |
| 2021年5月期 | — | 0.00 | — | | |
| 2021年5月期 (予想) | | | | 80,000.00 | 80,000.00 |

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年6月1日～2021年2月28日)におけるわが国経済は、日経平均が一時3万円台まで回復したものの、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止策により、国内における消費活動は冷え込み、先行きは不透明な状況となっております。

小売業界におきましては、外出やイベントの開催自粛・参加人数制限の要請等により消費者マインドは引き続き低下傾向にあり、加えて物流費の高騰等により経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、より独創的な店舗運営を目指しヴィレッジヴァンガードでしか味わうことのできない心躍る体験を提供できるよう事業活動を行ってまいりました。また販売費及び一般管理費の削減、商品供給体制の強化、また既存商品のWEB販売等継続的に取り組んでまいりました。

このような事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、21,196百万円と前年同四半期と比べ3,474百万円の減収(14.1%減)となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化を継続的に取り組んでまいりましたが、7,549百万円と前年同四半期と比べ1,620百万円の減益(17.7%減)となりました。営業損失は438百万円(前年同四半期は112百万円の営業利益)、経常損失は514百万円(前年同四半期は138百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は527百万円(前年同四半期は14百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

①ヴィレッジヴァンガード

ヴィレッジヴァンガードは、お客様に買い物を楽しんでもいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE(雑貨類)及びニューメディア(CD・DVD類)、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」から「コト」も含め取扱分野を広げた「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」等を運営しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は20,654百万円と前年同四半期と比べ3,554百万円の減収(14.7%減)となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、7,286百万円と前年同四半期と比べて1,665百万円の減益(18.6%減)となりました。販売費及び一般管理費の削減に継続的に取り組んでおりますが、営業損失は479百万円(前年同四半期は105百万円の営業利益)となりました。

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店6店を閉鎖したことにより、直営店331店、FC店5店の合計336店となりました。

②その他

株式会社Village Vanguard Webbedは日本国内でオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っており、クリエイターが作成した商品、アーティストとのコラボ商品等、面白味のある商品を多数取り扱っております。

また、当社グループには海外事業として海外子会社が2社ありますが、比利緹卡(上海)商貿有限公司につきましては2016年3月末をもって店舗を閉鎖、TITICACA HONGKONG LIMITEDにつきましても2017年6月末をもって店舗を閉鎖しております。今後、順次、会社清算へ向けた手続きを進めてまいります。

株式会社Village Vanguard Webbed及び海外子会社2社の当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は610百万円と前年同四半期と比べ65百万円の減収(9.7%減)となりました。営業利益は35百万円と前年同四半期と比べ30百万円の増益(571.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて17.1%増加し、24,325百万円となりました。これは、現金及び預金が3,668百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.7%減少し、3,498百万円となりました。これは、工具、器具及び備品(純額)が34百万円、ソフトウェアが33百万円、差入保証金が50百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて14.0%増加し、27,824百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて29.8%増加し、11,237百万円となりました。これは、買掛金が2,158百万円、短期借入金が598百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて19.1%増加し、9,330百万円となりました。これは、長期借入金が1,584百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて24.7%増加し、20,567百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて645百万円減少し、7,256百万円となりました。これは、利益剰余金が647百万円減少したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ3,668百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には7,065百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,765百万円(前年同四半期は1,191百万円の支出)となりました。これは、主に売上債権の増加額702百万円があったものの、仕入債務の増加額2,158百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は140百万円(前年同四半期は258百万円の支出)となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出104百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は2,044百万円(前年同四半期は526百万円の収入)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出2,959百万円があったものの、長期借入れによる収入4,700百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の連結業績予想につきましては、現時点では未定とし、新型コロナウイルス感染症拡大が沈静化し、業績への影響を合理的に算定することが可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年5月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,396 | 7,065 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,004 | 1,699 |
| 商品 | 15,326 | 15,146 |
| その他 | 1,040 | 418 |
| 貸倒引当金 | △3 | △4 |
| 流動資産合計 | 20,764 | 24,325 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,419 | 1,400 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 0 | 0 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 172 | 137 |
| 建設仮勘定 | 26 | 0 |
| 有形固定資産合計 | 1,617 | 1,539 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 403 | 370 |
| ソフトウェア仮勘定 | — | 40 |
| その他 | 1 | 1 |
| 無形固定資産合計 | 404 | 411 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期前払費用 | 101 | 88 |
| 差入保証金 | 1,508 | 1,457 |
| 破産更生債権等 | 5 | 5 |
| その他 | 2 | 2 |
| 貸倒引当金 | △6 | △6 |
| 投資その他の資産合計 | 1,611 | 1,547 |
| 固定資産合計 | 3,634 | 3,498 |
| 資産合計 | 24,398 | 27,824 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年5月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,461 | 3,620 |
| 短期借入金 | 2,242 | 2,841 |
| 1年内償還予定の社債 | 45 | 30 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,461 | 3,618 |
| 未払金 | 329 | 334 |
| 未払法人税等 | 66 | 49 |
| 未払消費税等 | 361 | 70 |
| 株主優待引当金 | 39 | 41 |
| 賞与引当金 | 63 | 28 |
| 資産除去債務 | — | 14 |
| その他 | 589 | 587 |
| 流動負債合計 | 8,660 | 11,237 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 210 | 195 |
| 長期借入金 | 5,567 | 7,151 |
| 長期末払金 | 207 | 173 |
| 役員退職慰労引当金 | 367 | 380 |
| 退職給付に係る負債 | 211 | 192 |
| 資産除去債務 | 1,205 | 1,170 |
| その他 | 66 | 66 |
| 固定負債合計 | 7,836 | 9,330 |
| 負債合計 | 16,496 | 20,567 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,330 | 2,330 |
| 資本剰余金 | 3,807 | 3,807 |
| 利益剰余金 | 1,737 | 1,090 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 株主資本合計 | 7,875 | 7,228 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 7 | 10 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7 | 10 |
| 新株予約権 | 19 | 17 |
| 純資産合計 | 7,901 | 7,256 |
| 負債純資産合計 | 24,398 | 27,824 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 24,671 | 21,196 |
| 売上原価 | 15,501 | 13,647 |
| 売上総利益 | 9,169 | 7,549 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,056 | 7,987 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 112 | △438 |
| 営業外収益 | | |
| 仕入割引 | 23 | 15 |
| 業務受託料 | 91 | 45 |
| その他 | 31 | 28 |
| 営業外収益合計 | 146 | 89 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 84 | 105 |
| 営業外支払手数料 | 31 | 45 |
| その他 | 4 | 14 |
| 営業外費用合計 | 120 | 165 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 138 | △514 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 0 | 1 |
| 助成金収入 | — | 19 |
| 違約金収入 | — | 41 |
| 特別利益合計 | 0 | 62 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 31 | 13 |
| 減損損失 | 24 | 2 |
| 投資有価証券売却損 | — | 0 |
| 店舗閉鎖損失 | — | 20 |
| その他 | 5 | — |
| 特別損失合計 | 61 | 36 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 78 | △488 |
| 法人税等 | 64 | 38 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 14 | △527 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 14 | △527 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 14 | △527 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △0 | 3 |
| その他の包括利益合計 | △0 | 3 |
| 四半期包括利益 | 13 | △523 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 13 | △523 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 78 | △488 |
| 減価償却費 | 259 | 245 |
| 減損損失 | 24 | 2 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △9 | △19 |
| 受取利息及び受取配当金 | △0 | △0 |
| 支払利息 | 84 | 105 |
| 営業外支払手数料 | 31 | 45 |
| 店舗閉鎖損失 | — | 20 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △607 | △702 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △220 | 179 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △679 | 2,158 |
| その他 | 121 | 371 |
| 小計 | △919 | 1,918 |
| 利息及び配当金の受取額 | 0 | 0 |
| 利息の支払額 | △87 | △106 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △185 | △45 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,191 | 1,765 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △78 | △9 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △88 | △104 |
| 差入保証金の差入による支出 | △36 | △12 |
| 差入保証金の回収による収入 | 20 | 36 |
| その他 | △75 | △50 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △258 | △140 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 499 | 598 |
| 長期借入れによる収入 | 3,220 | 4,700 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,799 | △2,959 |
| 社債の償還による支出 | △30 | △30 |
| 営業外支払手数料の支出 | △31 | △45 |
| 割賦債務の返済による支出 | △103 | △98 |
| 配当金の支払額 | △229 | △121 |
| その他 | 0 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 526 | 2,044 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | △0 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △922 | 3,668 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,612 | 3,396 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,689 | 7,065 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、会計上の見積りについての新型コロナウイルス感染症の影響が一定期間続くとの仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結財務諸表計上額 (注) 3 |
|-------------------|-------------|--------------|--------|--------------|-----------------------|
| | ヴィレッジヴァンガード | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 24,050 | 620 | 24,671 | — | 24,671 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 157 | 56 | 213 | △213 | — |
| 計 | 24,208 | 676 | 24,884 | △213 | 24,671 |
| セグメント利益 | 105 | 5 | 110 | 2 | 112 |

(注) 1. 「その他」の区分は、株式会社Village Vanguard Webbed、比利緹卡(上海)商貿有限公司及びTITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年6月1日 至 2021年2月28日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結財務諸表計上額 (注) 3 |
|-------------------|-------------|--------------|--------|--------------|-----------------------|
| | ヴィレッジヴァンガード | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 20,595 | 601 | 21,196 | — | 21,196 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 58 | 9 | 68 | △68 | — |
| 計 | 20,654 | 610 | 21,264 | △68 | 21,196 |
| セグメント利益又は損失(△) | △479 | 35 | △444 | 6 | △438 |

(注) 1. 「その他」の区分は、株式会社Village Vanguard Webbed、比利緹卡（上海）商貿有限公司及びTITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。